

安全な空の旅 整備まかせて

天草エア・岩木さん 唯一の女性確認主任者に

天草エアライン（天草市五和町）で唯一の女性整備士、岩木まりなさん（26）＝菊池市出身＝が4月、機体整備の最終責任を負う確認主任者に任命された。異例の早さで国家資格を取得してきた岩木さんは「整備に『大丈夫なはず』はない。絶対に安全に飛ばす」と力を込める。



天草エアラインの確認主任者に就いた岩木まりなさん

22日、天草空港

文徳高1年の時、初めて旅客機に乗り、「大きくて格好いい」と航空機への興味をぼんやり抱き始めた。崇城大工学部に進み、宇宙航空システム工学科で国家資格の二等航空整備士に合格。当初は大手航空会社を志したが、新型コロナウイルス禍で航空業界を取り巻く環境が悪化し採用が次々に中止され、一時は途方に暮れた。

ただ、整備士になる夢は諦めなかった。「熊本空港に隣接する大学のキャンパスから『かわ

いい機体』と眺めていた」という「みぞか号」を運航する天草エアへ2022年4月に入社。提携する日本エアコミューター（鹿児島県）へ出向するなどして実務経験を積んだ。24年10月に一等航空整備士に一発合格。通常は取得に4～5年かかる難関試験を2年半で通過した。

さらに真面目な仕事ぶりが評価され、入社からわずか4年で確認主任者に就いた。天草空港で従事する先輩6人と同じ業務を担えるようになった。

確認主任者としての最初の業務は4月16日。天草空港で午前7時台の始発便が出発する前に膨大な点検項目をチェックし、安全を最終確認するサインをした。「これまでとは違うプレッシャーに手が震えた」。機体が天草空港に戻り、「ほっとした」と振り返る。

航空機の整備に当たる女性は大手でも少ない。しかし、岩木さんは意に介さない。「力仕事もあるけど周りの先輩たちが支えてくれている。楽しい職場。いつになるかは分からないが、『次の機体の導入時に受領検査を任される』という夢へ努力を重ねる。」

（野方信助）



始発便の前に「みぞか号」を点検する岩木まりなさん 16日、天草市（天草エアライン提供）